

産業廃棄物処理計画書

令和 元年 6月 日

京都市長 殿

提出者

住 所 京都市右京区太秦上刑部町10番地

氏 名 株式会社DNPテクノパック 京都工場

京都工場長 水野 登志一

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 075-871-1698

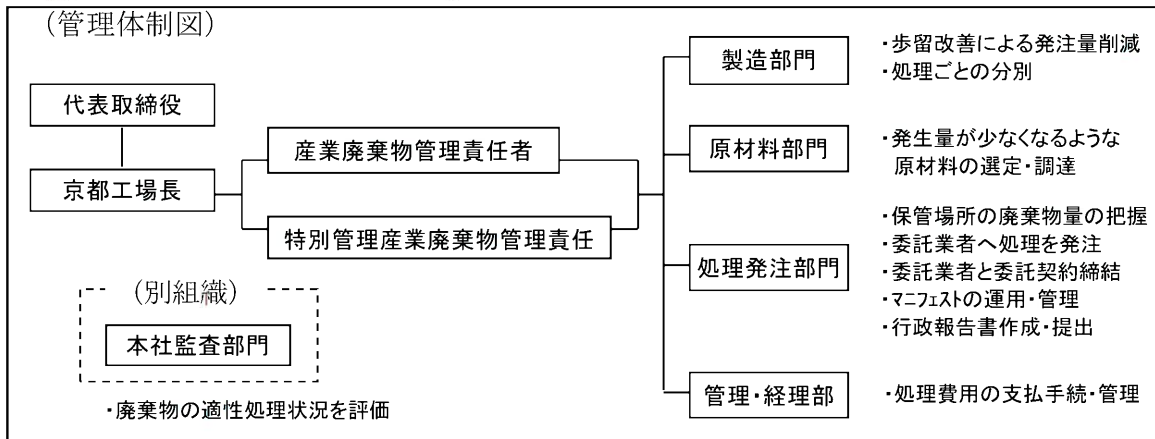
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社DNPテクノパック 京都工場
事業場の所在地	京都市右京区太秦上刑部町10番地
計画期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	(15) 印刷・同関連事業
②事業の規模	製造品出荷額（前年度実績） 5,980百万円（生産金額）
③従業員数	475人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙処理工程のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成30年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり
	排出量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり
	排出量	t
	(今後実施する予定の取組)	

- 最適オーダー活動でのロス率削減
- 紙単体ヤレ屑の分別・有価売却
- 刷版研磨汚泥の有価売却化
- 油性・水性廃インキ・溶剤の有価物化

- 段取り改善や停止ロス削減活動及び生産計画での群進行を進めロス率の低減を図る
- 工程歩留り向上及び工程間の連携強化による工場歩留り向上
- 社内分別の啓発活動や新規有価買取業者の開拓による廃棄物の有価物化促進

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	<ol style="list-style-type: none"> 廃プラ…カゴ・架台・パレットで分別し、屑処理場で集積 汚泥…バケツで排出 廃酸、廃アルカリ…ポリ容器で保管
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	<ol style="list-style-type: none"> 紙単体および紙・アルミ・塩素系を含まない複合プラスチックフィルム屑の分別回収を全部門へ展開、有価物化を図る。 各部門から排出されるごみの仕分けは、通達、チラシ等で指導する。 看板標識による置場の明示をする。 パトロールによる分別指導をする。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・廃プラの有効利用自社(田辺工場)焼却炉燃料として、有効利用。 →廃熱ボイラより発生した蒸気を工場内で空調用等に利用する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・現状継続実施		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) ・実施していない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（平成30年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし。	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（平成30年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への処理委託量	t t
	再生利用業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
	(これまでに実施した取組) ・委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。	

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への処理委託量	t t
	再生利用業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
	(今後実施する予定の取組)	
<ul style="list-style-type: none">・可能な限り優良認定処理業者から選定する。・また、再生利用、熱回収が可能である廃棄物については、再生利用業者、熱回収業者へ処理委託する。・委託先処理業者には定期的に現地確認を実施する。		
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産 業 廃 棄 物 処 理 計 画 書 の [集 計 用 シ ー ト]

- ・ 下表にない種類の産業廃棄物については、「産業廃棄物の種類」欄に、品目名を記載してください。
- ・ 行が不足すれば、適宜追加してください。

産業廃棄物の種類	① 排出量(t)		② 自ら直接再生利用した量(t)		③ 自己直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t)		④ 自ら中間処理した量(t)		⑤ ④のうち焼却を行った量(t)		⑥ 自ら中間処理した後の残さ量(t)		⑦ 自ら中間処理により減量した量(t)		⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量(t)		⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(t)		⑩ 中間処理及び自ら自己処理した後の処理委託量(t)	⑪ ⑩-①-②-③-④-⑤-⑥-⑦-⑧-⑨ = ⑩+⑪+(⑫+⑬+⑭)										⑫ ⑩+⑪から再生利用を行った量(t)		⑬ ⑩+⑪から埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)							
	委託先による区分		⑫ 再生利用者への処理委託量(t)		⑬ 熱回収認定業者への処理委託量(t)		⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収業者への処理委託量(t)		⑮ その他の中間処理委託量(t)		⑯ 埋立処分委託量(t)		⑰ 優良認定処理業者への処理委託量(t)		⑱ ⑫+⑬の量を合計したもの(自動計算)		⑲ ⑫+⑬の量を合計したもの(自動計算)																						
	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標		前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標										
燃え殻																			19.09	18.90	19.090	18.899												0	0				
汚泥	19.090	18.899																	19.09	18.90	19.090	18.899													0	0			
廃油	27.300	26.580																	27.300	26.580	27.300	26.580													0	0			
廃酸	3.654	3.350																	3.654	3.350	3.294	3.000														0	0		
廃アルカリ	0.280	0.270																	0.280	0.270																0	0		
廃プラスチック類	4,008.320	3,968.538	800.560	793.000															3,207.760	3,175.538	3,207.210	3,175.000														800.560	793.000		
ゴムくず																																					0	0	
金属くず	36.715	36.240																	36.715	36.240																	0	0	
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0.965	0.960																	0.965	0.960																	0	0	
紙くず																																						0	0
がれき類																																						0	0
ばいじん																																						0	0
紙くず																																						0	0
木くず																																						0	0
繊維くず																																						0	0
動植物性残渣																																						0	0
動物系固形不燃物																																						0	0
石綿含有産業廃棄物																																						0	0
廃石膏ボード																																						0	0
混合廃棄物(安定型)																																						0	0
混合廃棄物(管理型)																																						0	0
																																						0	0
合計	4,096.324	4,054.837	800.560	793.000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,295.764	3,261.837	3,229.594	3,196.899	0	0	28.140	27.398	38.030	37.540	0.000	0.000	3,294.634	3,260.717	800.560	793.000	0	0			

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。